



水道 GLP 認定証授与式（5月15日）

水道 GLP 認定委員会で認定の更新が決定した水戸市水道部（認定番号：JWWA-GLP072）の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会理事長室において行った。



水道基礎講座（東京会場第1回：5月8日～10日、
東京会場第2回：5月15日～17日、
東京会場第3回・大阪会場第1回：5月22日～24日、
大阪会場第2回：5月29日～31日）

水道業務に従事する新人事務・技術担当者の方々438名（東京会場第1回99名、東京会場第2回99名、東京会場第3回85名、大阪会場第1回81名、大阪会場第2回74名）の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道システム概論」について研修を実施した。

浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第1回：5月14日～17日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

JICA2019年度課題別研修「上水道施設技術総合：水道基本計画設計（A）」開講式（5月20日）

本協会がJICA（国際協力機構）から受託して実施している課題別研修「上水道施設技術総合：水道基本計画設計（A）」の開講式が行われた。

今年度で52回目を迎える本研修は、8カ国8名の研修員がアジア・アフリカ・中東各国より参加し、5月16日から7月12日までの約2カ月の日程で実施される。



全国水道企業団協議会第63回総会（5月23日～24日）

全国水道企業団協議会第63回総会（開催地事務局：中部地区協議会／砺波広域圏事務組合水道事業所）が、砺波市の「ロイヤルホテル富山砺波」において開催された。

第1日目：開会式では、開催地代表として砺波広域圏事務組合の夏野管理者（砺波市長）、全国水道企業団協議会会長の小林八戸圏域水道企業団企業長（八戸市長）から挨拶があった後、厚生労働大臣、総務大臣、富山県知事、日本水道協会理事長、日本水道工業団体連合会専務理事、水道技術研究センター専務理事より祝辞があった。

続いて表彰式では、全国水道企業団協議会会長表彰として、16名が表彰された。

会議では「会務報告」の承認を得たのち、「平成30年度歳入歳出決算」、「令和元年度歳入歳出予算（案）」の各議案が上程され、原案のとおり決定した。

休憩後、会員提出問題討議に入り、問題1「東日本大震災に係る水道施設の災害復旧事業等における人的支援の強化及び継続について」、問題2「水道事業に対する財政支援の拡充及び要件の緩和等について」、問題3「水道施設の更新・再構築事業等に対する新たな財政支援体制の確立について」、問題4「IoT/ICTの活用による効率的な事業運営を図るための補助制度の拡充について」、問題5「再エネ・省エネ機器の導入促進に向けた柔軟な制度運



開会式の様子



表彰式の様子

用について」、問題6「交付金の一部事務組合への直接交付について」、問題7「公的資金補償金免除繰上償還制度及び公営企業借換債制度の復活について」、問題8「地方公営企業繰出制度の法制化及び拡充等について」、問題9「水道施設の災害対策に対する財政支援について」、問題10「水道事業における災害時の電力及び燃料確保対策について」、問題11「水利権制度の柔軟な運用について」、問題12「水源地域における関係機関の連携及び財源措置について」、問題13「地下水利用専用水道の揚水規制に係る法整備について」、問題14「クリプトスポリジウム等に関する対策の推進及び財政支援について」、問題15「電磁式を含む水道メーターの検定有効期間の延長について」が一括上程され、討議の結果、全ての問題を関係当局に陳情することと決定した。

次に、厚生労働省医薬・生活衛生局の日置水道課水道計画指導室長、総務省自治財政局の本島公営企業経営室長よりそれぞれ最近の水道行政の動向に関する説明があった。

最後に、次期総会について、関西地区協議会の阪神水道企業団を開催地事務局として開催することと決定した。

第2日目：砺波広域圏事務組合水道事業所・松島浄水場等を視察した。

第975回会誌編集委員会（5月27日）

正副委員長の互選、本誌6月号の編集方針、投稿原稿の査読、新規原稿の取扱い等について審議を行った。



第46回 IWA 日本国内委員会（5月30日）

IWA 役員会やIWA 戦略評議会など、最近のIWAの動向について報告があった後、今後予定されているIWA 関連会議の開催が告知された。さらに、Japan-YWP「日本水大賞 厚生労働大臣賞」受賞、IWAのWater Wise Cities 原則及び戦略計画の日本語版作成について触れ、国内でのIWA ビジョンの共有について報告を行った。



また、2018年第11回国際水協会（IWA）世界会議・展示会開催国委員会から譲渡を受けた資金の活用について議論し、水分野の若手の国際活動に対する具体的な支援策について審議した。

令和元年度第1回理事会（6月5日）

吉田理事長が議長となり、報告事項1「公益社団法人日本水道協会の会務」について説明した。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「平成30年度日本水道協会会計決算」、第2号議案「会員の入会」が上程され、審議の結果、それぞれ原案のとおり決定した。



令和元年度第1回運営会議（6月5日）

吉田理事長が議長となり、報告事項1「東日本大震災被災地への復興支援」、報告事項2「全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会との『災害時における宿泊施設の情報提供に関する協定』の締結」、報告事項3「東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた給水支援等」、報告事項4「地震等緊急時対応特別調査委員会の検討結果」、報告事項5「『地震等緊急時対応の手引き』の改訂」、報告事項6「サイバーセキュリティ協議会への加入」、報告事項7「令和元年度水道イノベーション賞」、報告事項8「指定給水装置工事事業者制度への指定の更新制の導入におけるガイドライン」、報告事項9「地下水利用専用水道等に係る水道料金の考え方と料金案事例集の公表について」、報告事項10「第61回水道週間」、報告事項11「第8回 IWA（国際水協会）-ASPIRE（アジア太平洋地域）会議・展示会（香港）」、報告事項12「第12回 IWA（国際水協会）世界会議・展示会（コペンハーゲン）」について、それぞれ事務局から報告があった。

続いて第1号議案「令和2年度水道関係予算の要望」が事務局より上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

会議終了後、第1号議案の議決に基づき、出席委員全員により関係国会議員及び厚生労働省、総務省に対し陳情を行った。



盛山正仁衆議院議員
（自由民主党水道事業促進議員連盟幹事長）
への陳情



宮寄雅則厚生労働省大臣官房
生活衛生・食品安全審議官への陳情